

自治体職員が考える

自治体GISセンター構想

～ 技術ではなく、組織・仕組みづくりから ～

浦安市 小泉和久

koizumi.kazuhisa@city.urayasu.lg.jp

Facebook：<http://facebook.com/kazuhisa.koizumi>

**自治体の中でGISが
なかなか普及しない**

GISって、うちの仕事？
GISは、関係ないよね。

GISって、難しいよね。
マニアックな職員が
操作するもの。

やれる自治体は導入完了
できない自治体をどうする?!

GISより本来業務やれ！
GISが無くても業務は
回るよね

どうせ、高いでしょ
そんな金、無いよ

挑戦しても、給与はあがらない
なら、火の中の栗は拾わない

新しい仕事・チャレンジはご遠慮
俺ではなく、誰か責任取って

長いものには巻かれない
流れに取り残されてはマズイ

ルール化されれば、やります
誰かが決めてくれれば

どうせ数年で人事異動
覚えても無駄、覚える気ナシ

簡単じゃなきゃダメ
自動化してくれないとダメ

これでは、GISは普及しない、広がらない……

実は、ちよつと昔に
同様のケースが？！

行政ホームページ開設ブーム

役所でホームページを開設しなきゃ！

便利だよ！必要だよ！
民間では当たり前

ホームページって、どこの所管

広報担当だ！情報政策だ！
あっちだ、こっちだ

記事やコンテンツを出してもらえない

うちは忙しい、そんな暇はない
ホームページは各課には関係無い

強引にホームページ開設

担当課の非協力なまま
ホームページを開設

笛吹けど、誰も踊らず

更新されず、新鮮さ失い、見てもらえない

やらせるには、
簡単じゃなきゃダメ

やはり各課から発信しないと ⇒ CMS

そう全庁で決まったのね。
やってみると反響

「掲載しなきゃいけない」という風潮

やっと業務として
認知された

ホームページ更新が仕事に

負のマインドをどう攻略する

新しい仕事・チャレンジはご遠慮
俺ではなく、誰か責任取って

GISって、誰の仕事かを明確に

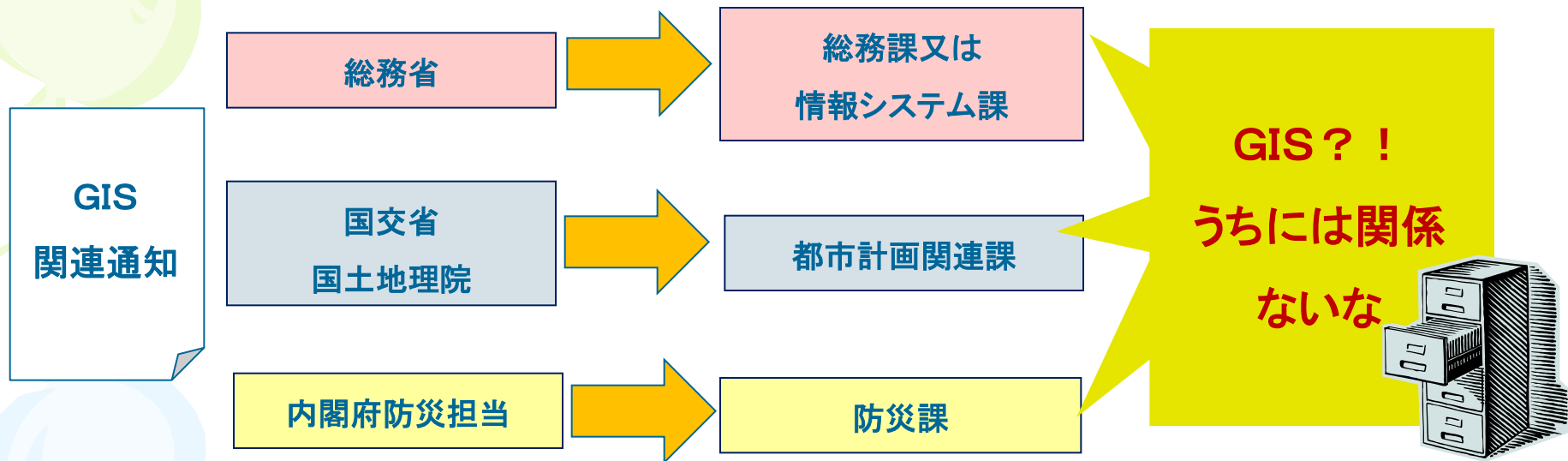
ルール化されれば、やります
たれかが決めてくれれば

「自動」というルール化

簡単じゃなきゃダメ
自動化してくれないとダメ

簡単地図作成「GIS-CMS」

GISって、誰の仕事かを明確に ～ 庁内での役割の明確化 ～



同じようなことが、議会から質問や調査アンケート、予算要求時にも起こります

統合型GISの整備やGISの推進をする課
GIS推進を業務として、どの課がすべきか
自治体の中で明確・認識されていない！！

GIS = 情報基盤・情報共有ツール

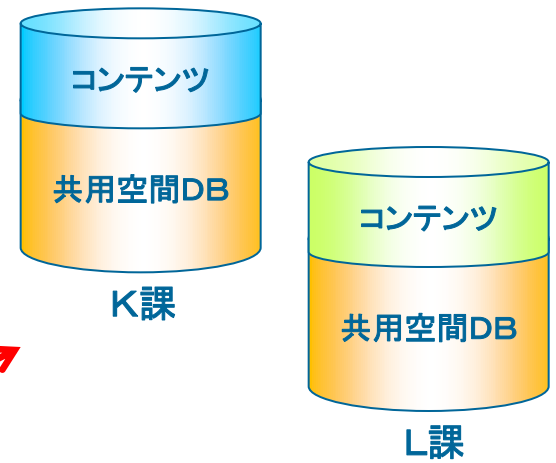
庁内LAN、情報インフラ、ファイルサーバと役割は類似

**統合型GISの整備・GISの普及は
情報システム・情報政策部門**

但し、地図の部品や登録するコンテンツ・情報は、情報発生源である各課の仕事・役目

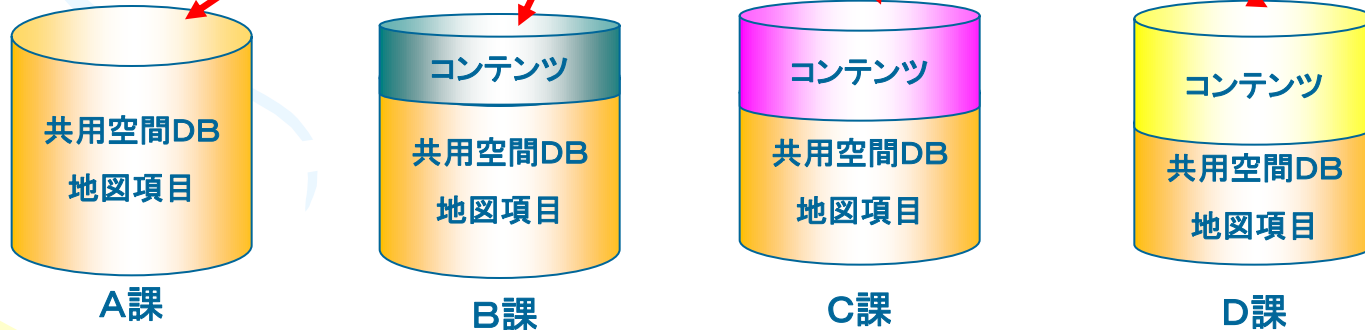
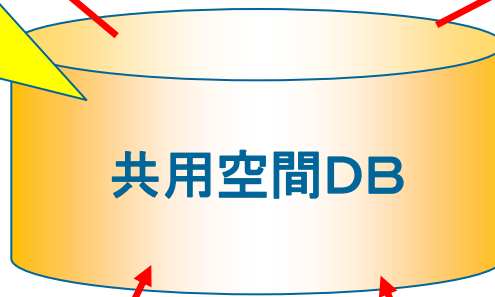
GISって、誰の仕事かを明確に ~ 庁内での役割の明確化 ~

個別GISを持たないコンテンツだけの課



共用空間DBを利用する課

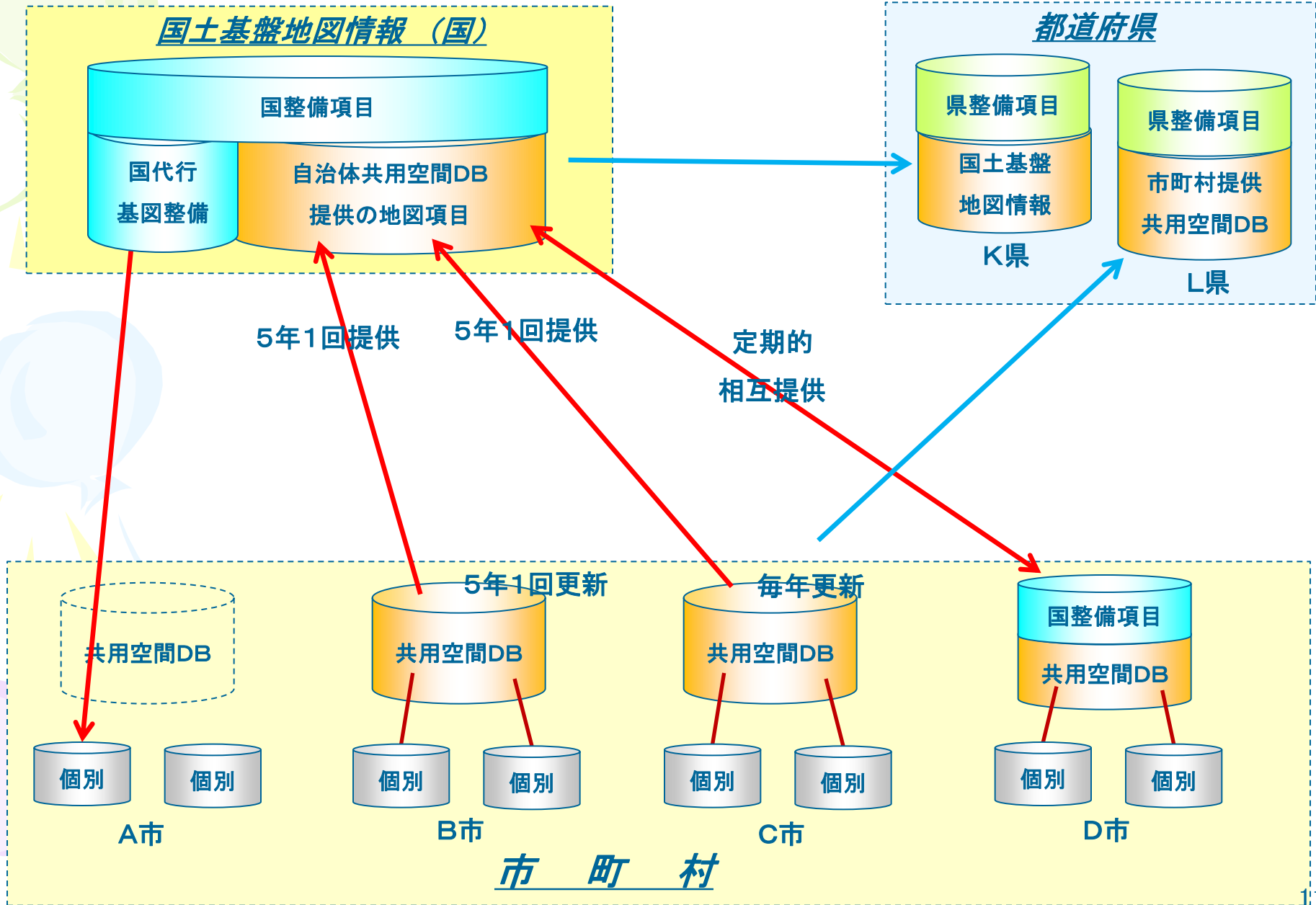
「共用空間DBの器」
「統合型GISの枠組み」
情報システム部門が整備



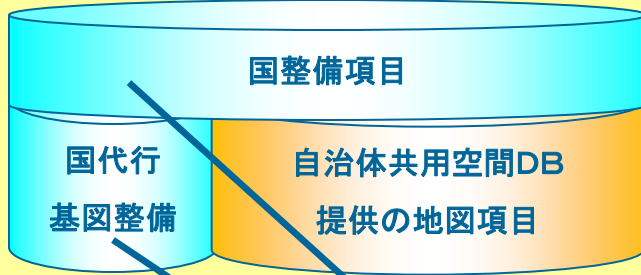
共用空間DBと地図項目を共有している個別型GIS

GISって、誰の仕事かを明確に

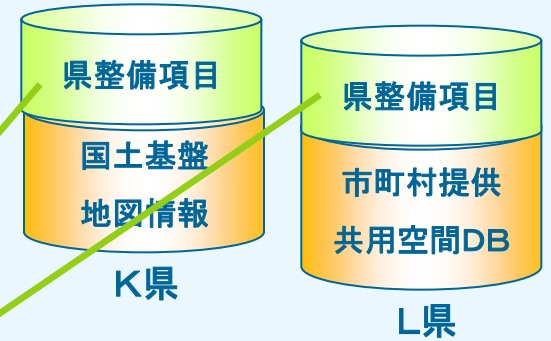
～ 国・県・市町村の役割の明確化 ～



国土基盤地図情報 (国)

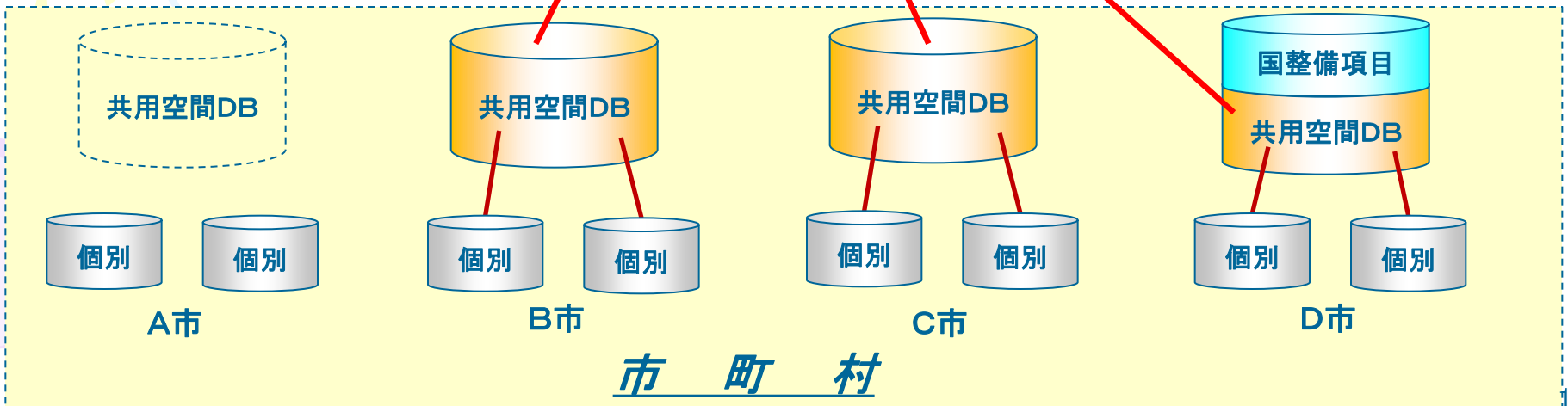


都道府県



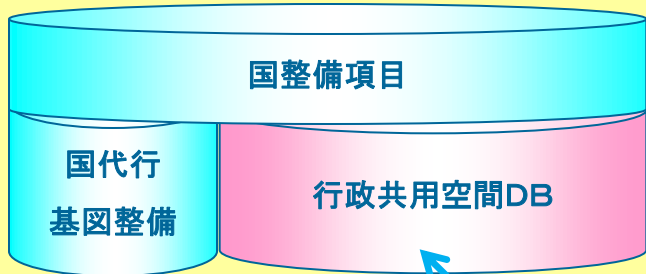
5年1回更新・提供

毎年更新・提供

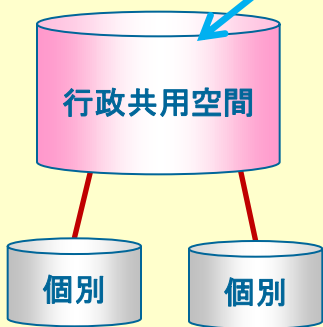
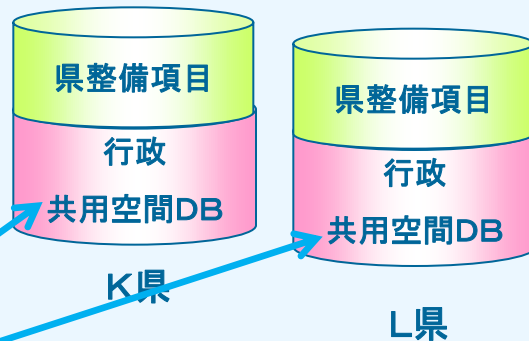


市 町 村

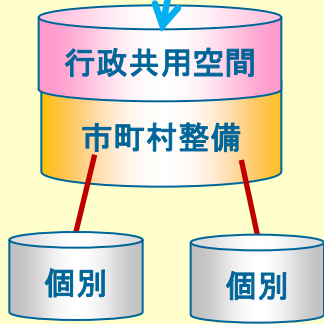
国土基盤地図情報 (国)



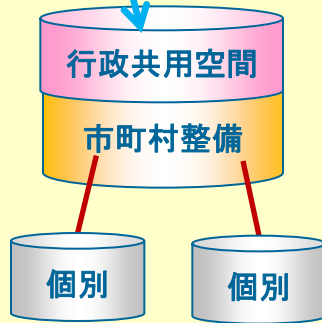
都道府県



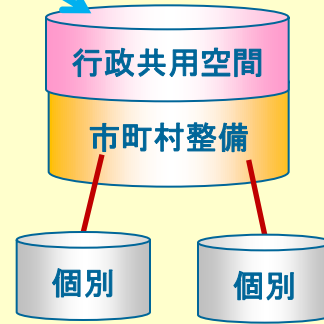
A市



B市



C市



D市

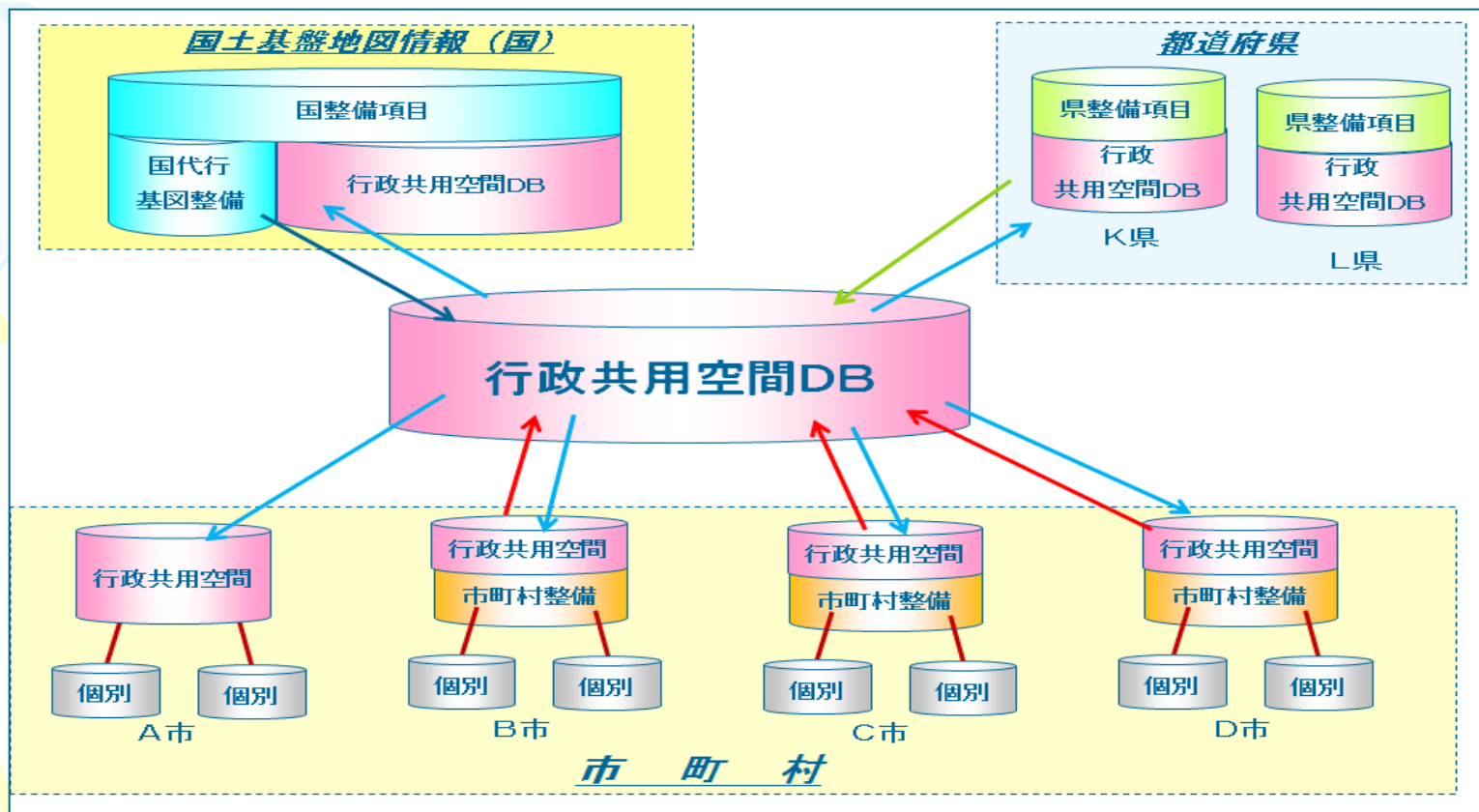
市 町 村

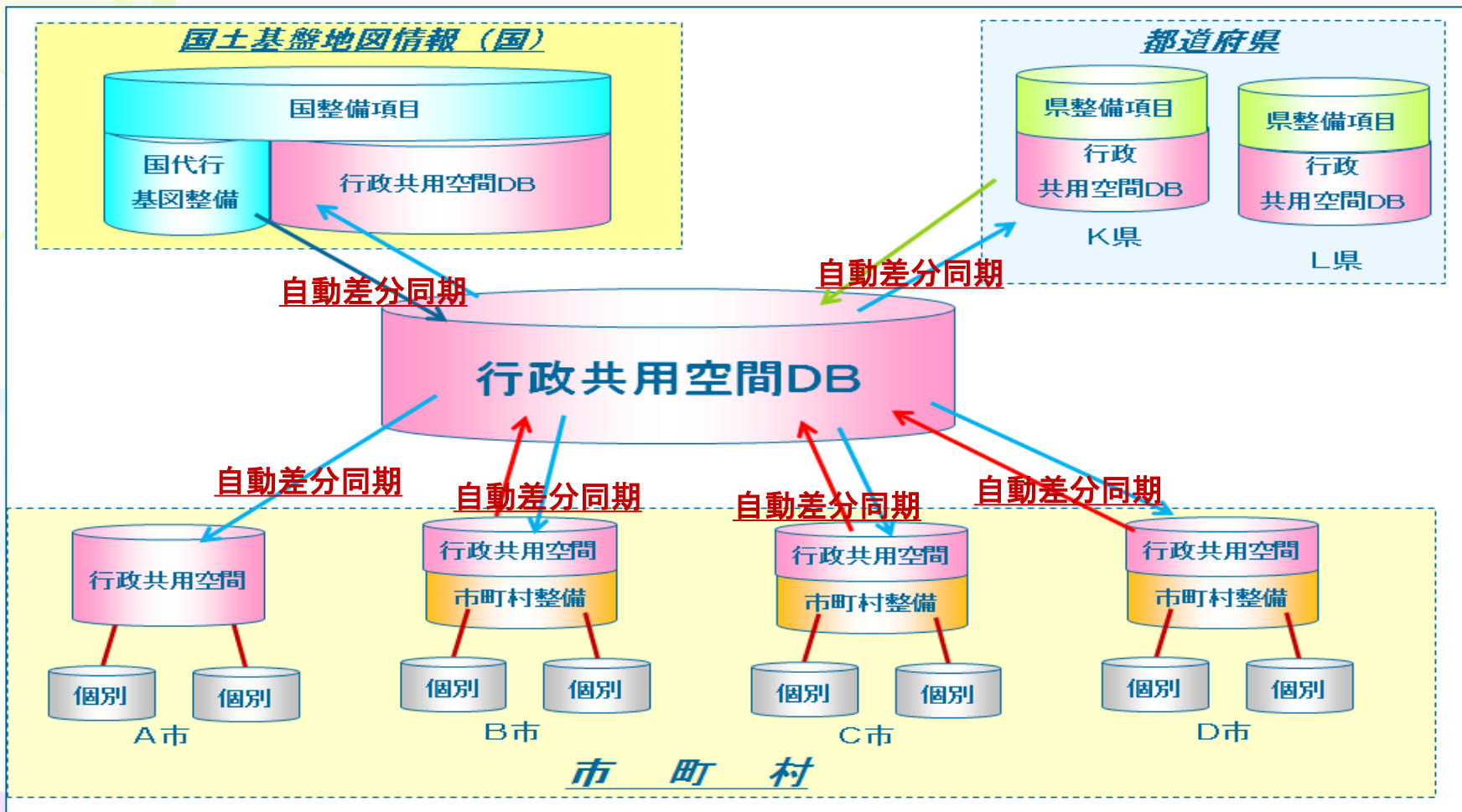
整備した地図項目
の「良いとこ取り」

一枚の共通の
基図を作る

その基図を共有し、
コスト削減や情報共有を

国・県・市で共用空間DBを整備

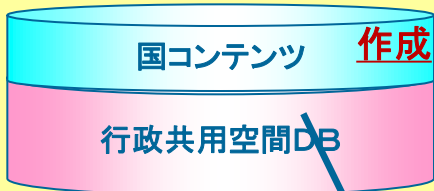




共用空間(基図)は、定期的に自動差分同期(Xcopy)と
もかく担当の地図項目さえ更新して!あと自動です!

ルール化 ～ コンテンツ更新ルール「作成・送信・自動公開」～

国土基盤地図情報（国）



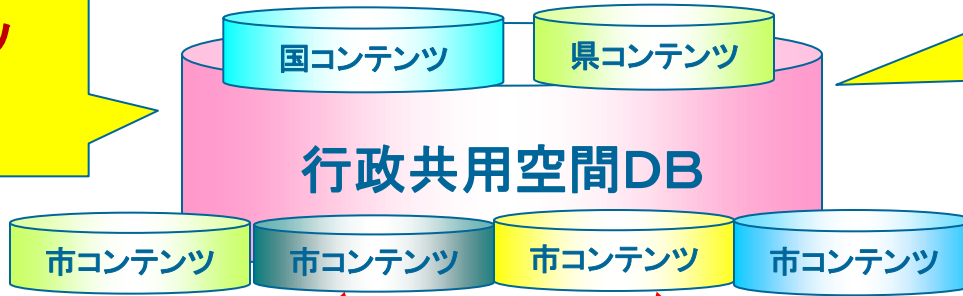
ファイル送信

都道府県



ファイル送信

地図コンテンツ
にて公開



送信されたファイル
のままオープン

ファイル送信

ファイル送信

ファイル送信

ファイル送信



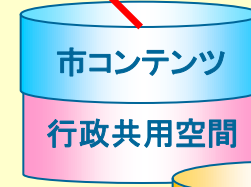
A市



B市



C市



D市

市 町 村

GIS-CMS

職員の「日々の業務の材料」を使って
「簡単に」地図(主題図)を作成できるツール

「日々の業務の材料」

〇〇〇一覧表等のエクセル
基幹業務システム

「簡単に」

マウス操作で地図ができる



自治体業務における基本情報

位置情報⇒「住所」

業務対象⇒「住民」

住所が発生する時

住居表示番号業務

住居表示台帳GIS

の普及推進

住民が発生する時

出生・転入・転居

住民記録システム

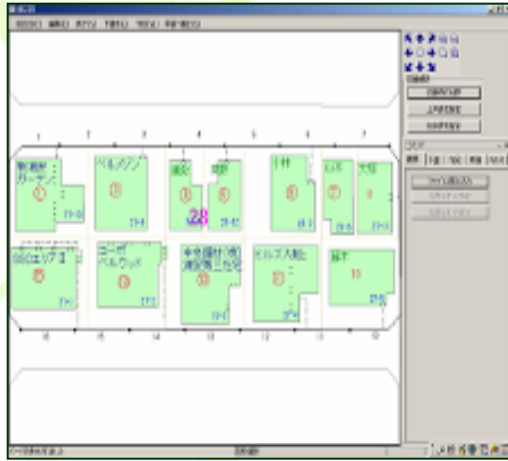
とGISの連携

「住所+XY座標」

「住民CD+XY座標」

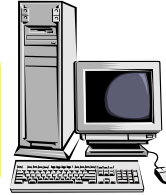
自治体住所辞書

簡単地図作成「GIS-CMS」 ～ 住所と住民を押さえる 浦安市～

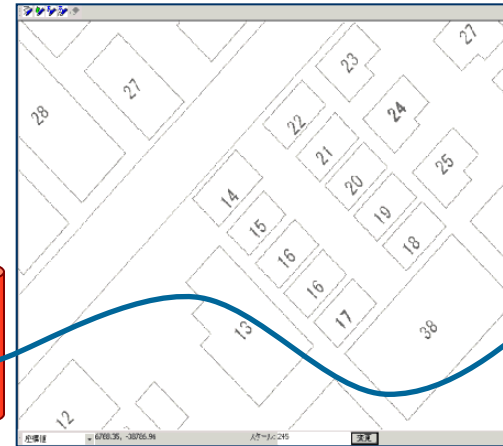


住居表示台帳GIS

地図データ
住居表示
台帳
データ



住居表示番号
位置情報



住記記録データ
住所・氏名・
性別・生年月日

建物データに住居表示番号が付番された

住居表示番号(住所)とXY座標が連携
共用空間DBと住民記録データの連携

● 住民記録システム画面との地図連携

メニュー > 宛名検索 > 宛名照会

宛名照会 2/2 最新 ▲ ▼

地理情報

登録区分	住民	法人組織	<input type="checkbox"/>	世帯番号	226132	個人番号	458729
氏名かな	こいずみ しずこ	生年月日	S22. 4. 14	登録業務	住民記録		
氏名 法人	小泉 静子	性別	女	適用日	H24. 7. 9		
TEL		FAX		MAIL			

住所情報

郵便番号	979-0041	支所		小学校区	南小学校
住所	千葉県浦安市堀江 1 丁目	地区		中学校区	堀江中学校
番地	33 番 9 号	行政区	元町	投票区	
方書				旧自治体	浦安市
代表者肩書		代表者氏名			
前住所					
転入前住所					
転出先住所					

操作パネル

- 表示範囲
- レイアウト
- 表示設定
- 表示

郵便番号

- 郵便番号
- 境界
- 生活環境
- 道路・交通
- 都市計画の法線・商業
- 建物
- 土地
- 浦安市自然
- 浦安市の緑地・緑地
- 都市整備の方針
- 災害備忘録マップ
- 住民記録
- 1211現在 未申請者分
- アイコングレード
- 前年取得実績 推定建物
- 所得100万円超え
- 【小泉町】填寫マップ
- 124.10現在 未申請者分
- 宛名システム連携

堀江二丁目

航空写真 共有空間

0 70m

簡単地図作成「GIS-CMS」

～ アドレスマッチングと丁目等エリア集計

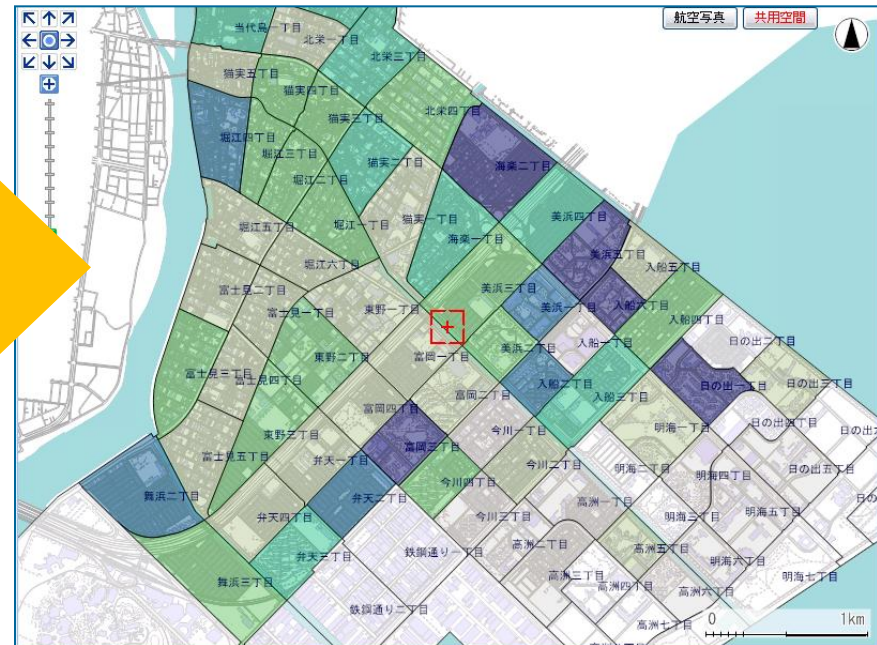
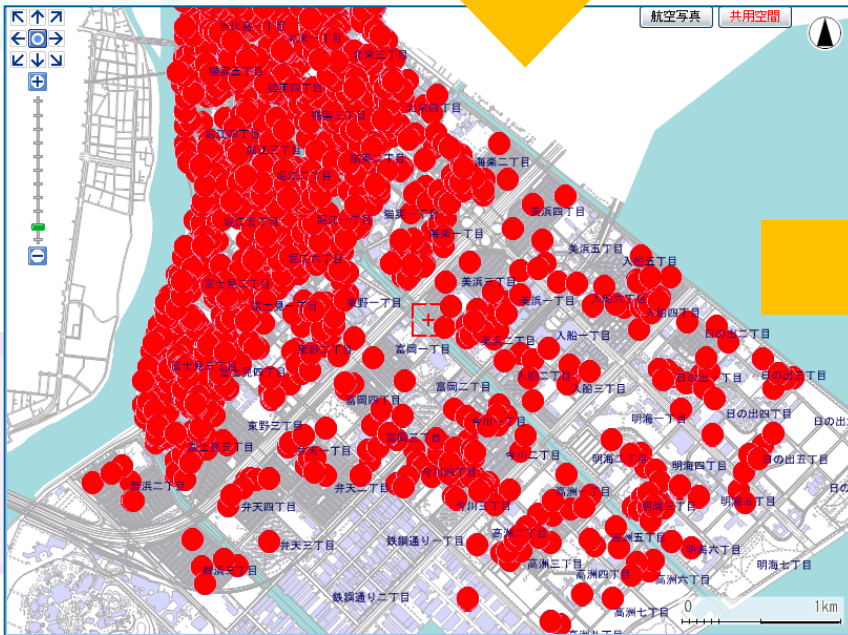


ドラック&
ドロップ



アドレスマッチング後の「点の地図」は、ピンポイント過ぎて、説明資料等に使用できない

丁目等エリア集計が必要



業務で使用している「エクセル」
や「一覧表」から簡単な操作で
地図を作成

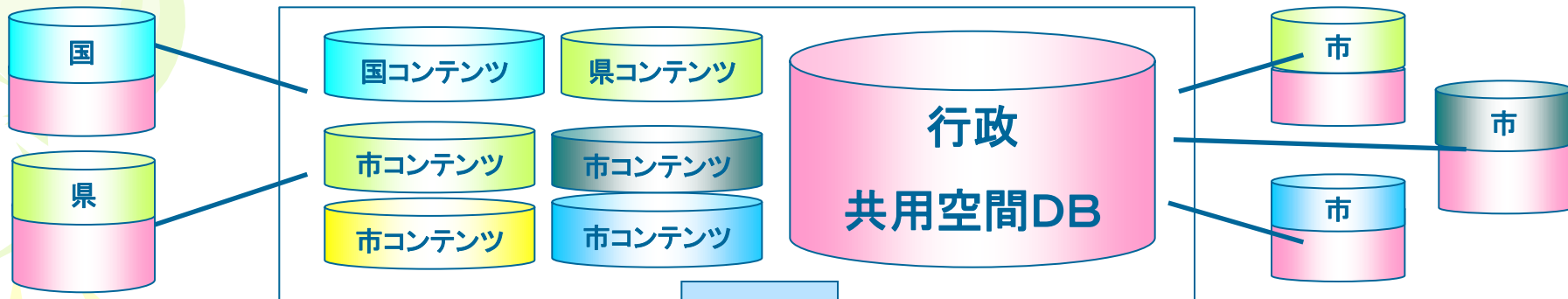
日々の業務で常に操作して
いる「業務基幹システム」と
GISを連携させる

GIS-CMS

丁目等のエリア集計により
分布図も作成可能

資料は「エクセル」と「地図」で
提出という文化の醸成

- ・庁内地図数を増やす
- ・業務と地図の距離を埋める



		基図項目					住所辞書			標準主題図			
		市道 道路	河川	家屋	筆	行政界	住居表示 GIS	宛名GIS 連携	住所 辞書	都市 計画図	防災 地図	人口 分布	公共 施設
A県	あ市	①	①	①	①	①	○	○	○	○	○	○	○
	い市	①	①	①	①	①	○	×	○	○	○	△	○
	う町	③	③	③	③	③	○	×					
B県	か市	①	①	①	①	①	○	×					
	き市	③	③	③	③	③	○	×					
	く市	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
C県	さ市	③	③	③	③	③	○	×	○	○	○	○	○
	し町	①	×	×	×	①	×	×	×	○	○	×	×
	す町	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

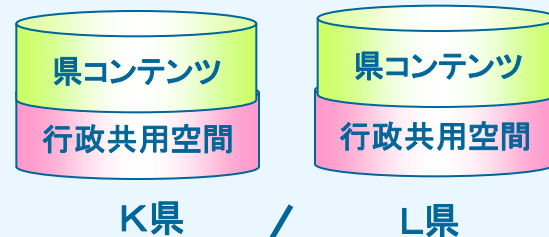
**補助金や交付金等は
「できていない」自治体へ**

自治体職員が考えた「自治体GISセンター構想」

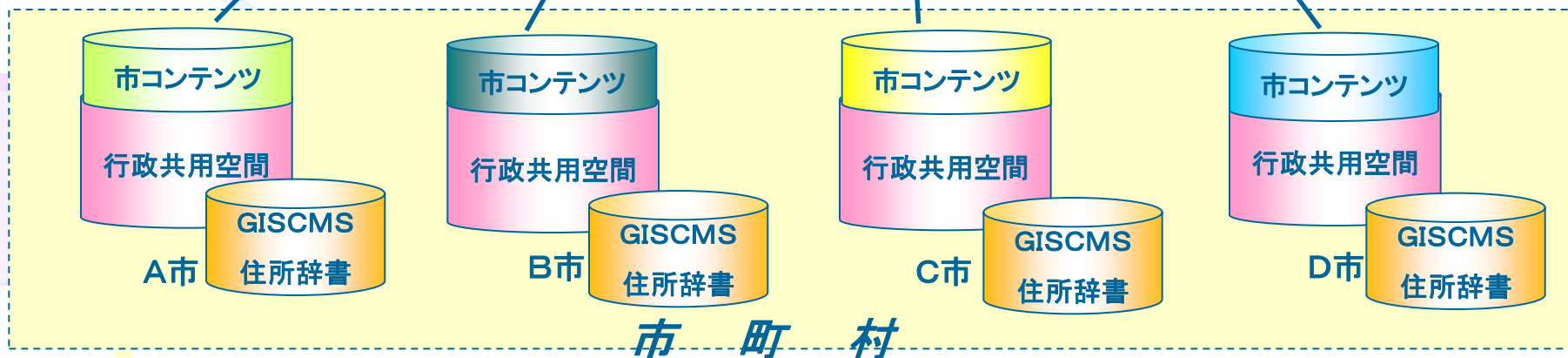
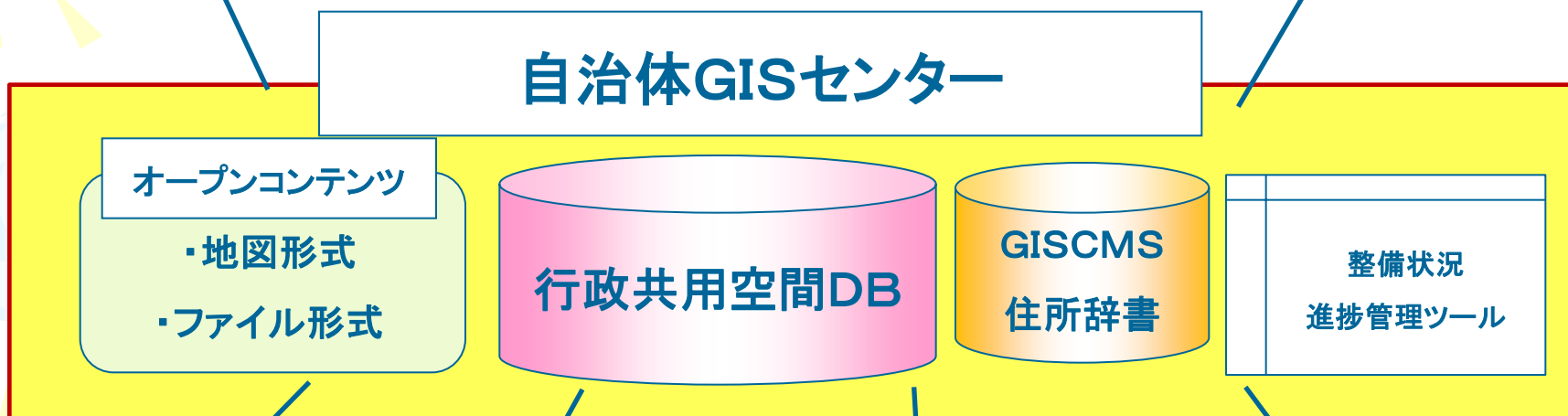
国土基盤地図情報 (国)



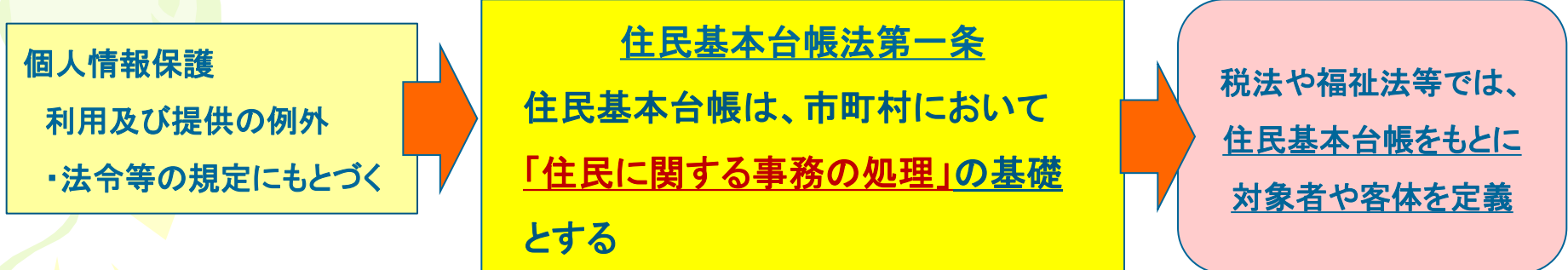
都道府県



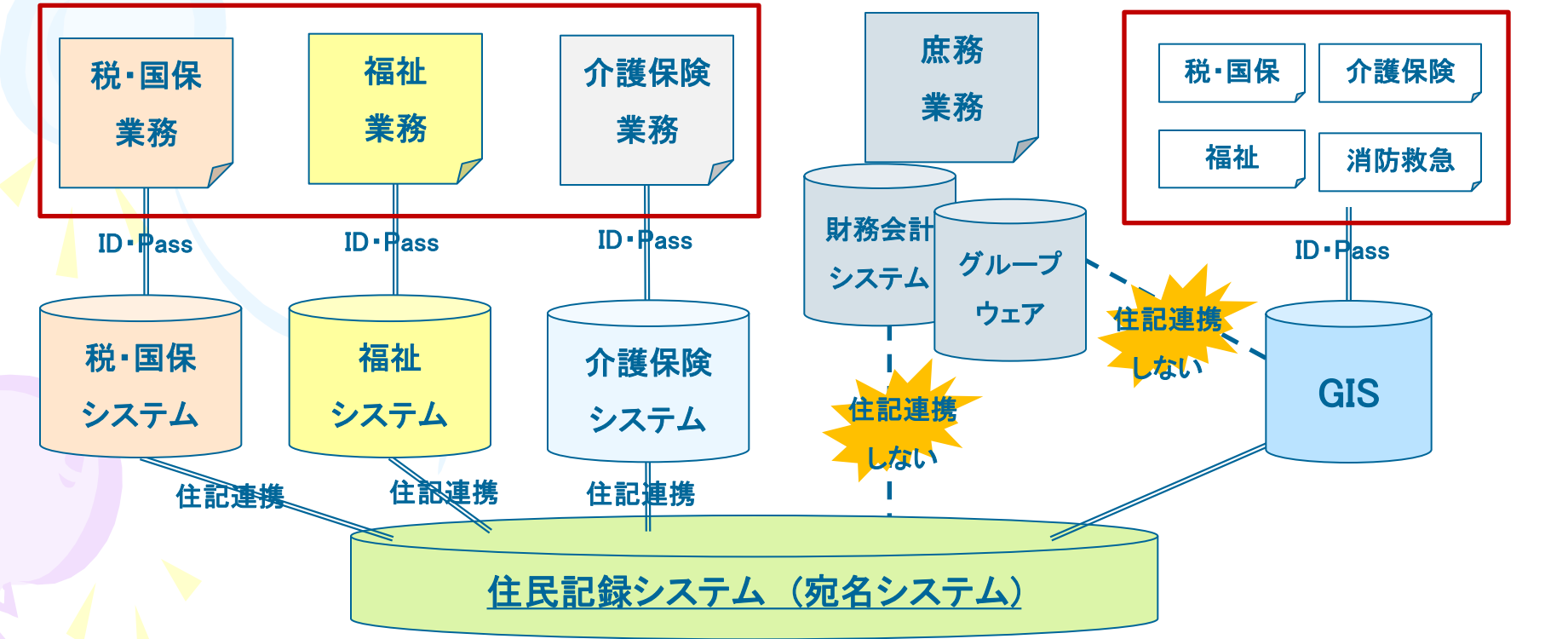
自治体GISセンター



オマケ GISで住記データを利用してよいのか



GISで住記が使えるかではなく、GIS上で行う業務が住記情報を使えるか



GISによる
分析は無理

現在、エクセルや一覧表等の
「数字」の分析すらできていない

なぜ「分析」しないの？

「目標管理」「成果評価」という文化がない！

目標がないから、現状把握や分析をする必要がない！

政策支援等、GISでの分析を進めるには、
「目標管理」という文化を取り入れることが先